

2021年度事業報告書

自2021年4月1日 至2022年3月31日

特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的人権が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与した。

2 本年度重点項目

- ・患者家族滞在施設運営事業(①)
感染症の拡大防止に努め、利用者が安心・安全に過ごすことのできる環境を提供した。
- ・保育事業(③)
研修会の参加や他団体との連携強化により、親と子双方が安心できる保育を実施した。
- ・難病の子ども達の課題を解決して行く為の支援事業(④)
きょうだい児支援に関するシンポジウムを開催し、支援の社会的周知と他団体との連携を図った。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

支出額：11,374,154円

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任を保ち、利用者が気持ちにゆとりを持って看病に専念できるよう最適な環境を提供した。新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、施設を閉鎖することなく運営を継続した。医療センターの面会制限に合わせて宿泊人数に制限を設けたが、子どもの病状や家庭環境に配慮し希望に添えるよう調整した。ボランティアは最低限の人数で、距離を保ちながら利用者対応にあたった。新施設長候補を選定し、育成に努めている。

運営期間： 通年
従事者： 約70名
対象者： 病児とその家族
場所： 横浜市南区「リラのいえ」
利用者数： 3,338名
平均稼働率： 55.6%

②家族の交流の場の提供事業

支出額：760,737円

ア コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催

(公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団夏季レクリエーション活動費助成事業)

内容： 神奈川県内の特別支援学校の児童・生徒・卒業生を中心とした、障害のある子どもと家族のための音楽会を開催した。子どもと家族への感染予防のため、会場では無観客で開催、動画を編集し後日オンラインで配信した。過去のコンサート来場者に呼びかけて出演者へのメッセージ写真を募り、動画に取り込んで家族との交流の機会を継続した。動画は対象者への限定配信として、400回以上の再生があった。

開催日： 8月21日(録画)
従事者： 2名
対象者： 障害のある子どもとその家族
場所： 横浜ラポールシアター

イ バザー開催

内容： バザー開催による地域との交流・広報活動。近隣地域にお住まいの方、全国の支援者から提供の多数の品物を販売した。感染拡大防止のため室内でのイベントは行わず、テラスのみで開催した。

開催日： 10月24日
従事者： 約30名
対象者： 近隣地域の方・支援者・一般市民
場所： 横浜市南区「リラのいえ」
利用参加者： 約100名

③ 保育事業

支出額：5,739,075円

ア きょうだい児保育事業(横浜市の認可外保育施設として認証)

(新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金助成事業)

内 容： 医療センターへ入通院する病児のきょうだい児を保育士が預かり、保育した。きょうだい児が安全で楽しい時間を過ごし、病児家族が安心して病院へ向かえる環境を提供した。感染症の影響が長引く中、利用が増加する家族の負担軽減のため、利用料引き下げを続けた。感染拡大状況に応じて利用者数の制限を行い、衛生面に気を配り事業を続けた。医療センター内のきょうだい預かりボランティアグループとの連絡会では、面会制限で入館できないきょうだい児のため、情報を共有しサポート体制を強化した。

運営期間： 通年
従事者： 11名
対象者： 病児のきょうだいとその家族
場 所： 横浜市南区「リラのいえ」
年間利用者： 778名

イ 研修会等への保育士派遣

内 容： 医療センターが主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等でのきょうだい預かりに保育士を派遣する予定だったが、感染症の影響で保育は行われなかった。

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

支出額：1,268,684円

ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援

内 容： 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった

イ チャリティーコンサートの開催

内 容： 小児医療を取り巻く環境で必要な支援をアピールするためのコンサートを開催した。会場席数の半分以下を定員とし、健康観察票の事前配布や会場の換気・消毒など、感染防止対策を徹底して行った。来場者に活動現場の様子をお伝えするため、リラのいえ利用家族による講演を行った。

開催日： 6月26日
従事者： 33名
対象者： 一般市民
場 所： はまぎんホールヴィアマーレ
参加者： 150名

ウ 病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業

(かながわボランティア活動推進基金21助成事業)

内 容： きょうだい児を取り巻く環境や課題、必要な支援についての社会的周知、支援者同士の交流を目的としたシンポジウムを開催した。リラのいえを配信拠点としてオンラインで行った。全国から多数の参加があり、継続開催によりきょうだい児支援団体とのネットワークが広がっている。

開催予定： 10月2日
従事者： 9名
対象者： 一般市民
場 所： リラのいえ
参加者： オンライン141名

エ 病児家族へのミールサポート事業【新事業】

内 容： リラのいえ利用者に栄養バランスの取れた食事を届ける事業を開始した。近隣の飲食店からの弁当の配達と、リラのいえで調理した食事の提供。本事業特定寄付では、目標金額を上回る支援が集まった。

実施日程： 9月～3月 合計19回
従事者： 各回約5名
対象者： 病児とその家族
場 所： リラのいえ

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

支出額：466,670円

ア 組織基盤強化事業

内 容： 中期的な事業戦略策定のため、第三者によるコンサルタントを受けた。団体の置かれた事業環境を分析することを目指し、プロボノ支援により利用者情報データ化の要件定義を行った。データ化の目的を実績レポートを示した広報資料作成と定め、利用状況をクラウド管理するためのシステム構築と入力作業をボランティアが担当し、事業実績の整理を進めている。

従事者： 10名